

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	アスク向日保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

平成30年 3月 15日

総 評	<p>アスク向日保育園は、向日市北部、京都市に近接しており、大型商業施設や駅から徒歩圏内に位置する保育園です。近隣環境はここ10年で大きく変化し、今後の人口増加が見込まれる地域です。地域における保育園の役割が増す中、第三者評価を毎年受診するなど、そのもととなる自己評価と合わせて積極的に取り組み、評価結果を保育の質の向上につなげています。</p> <p>乳児に対しては、早朝保育には必ず担当が付き、朝8時には、すべてのクラス担任がいるようにするなど、子どもが安心して園生活のスタートが切れるようにしています。</p> <p>幼児では専門講師によるリトミック、英語などにも取り組んでいます。また、発表会では、ストーリーや自分の役柄を、子どもたち自身が選び決めることができるよう配慮するなど、子どもの主体性や自主性を大切にし、一人一人の個性を活かした丁寧な保育を心がけています。</p> <p>「自分で相手に想いを伝える」ために、様々な体験ができる機会を設けたり、一人一人の子どもの人権に配慮した保育に取り組み、子どもが互いに尊重する心を育めるよう取り組んでいます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を毎年受診し、新たな評価項目から取り組むべき課題を明確にすると共に、計画的な改善策の実施を目指しています。 ・地域の保育所として周辺の社会資源を明確にし、向日市の看護師会とも連携を図っています。会議録もあり、小学校と連携した交通安全教室や合同避難訓練などが適切に行われています。 ・アレルギーのマニュアルは園独自で作成し、見直しが行われていることが確認できました。給食室での受け渡しには目視・確認・注意が払われています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長は自らの役割と責任を表明し、職員とのコミュニケーションを積極的に取っています。法令順守の研修への参加を裏づける資料の保存と責任の明文化などを実施されるとな良いでしょう。 ・保育課程は保育所の理念と保育の基本方針に基づいて編成されています。今後は、地域の実態に応じた内容を盛り込み、定期的な評価と見直しができることより良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

【様式 9-2】

【保育所版】 評価結果対比シート

(注) 判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご注意ください】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	アスク向日保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成29年12月15日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	b
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	b
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	c
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	c
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	b
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c	b

[自由記述欄]

- ・理念・基本方針について職員にはもちろん、懇談会の場などを通して保護者への説明を行っています。(通番1)
- ・経営状況の変化について、向日市園長会、保幼小連絡会で情報を交換収集し、地域の待機児童数の把握に努めています。ただし、経営課題に関しては園長、理事長が一体となって考える仕組みづくりが必要でしょう。具体的な取り組みが望まれます。(通番3)
- ・現状、中・長期計画はありますがそれを踏まえた単年度の事業計画はありません。(通番5)
- ・事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが今後の課題です。(通番6、7)
- ・第三者評価を毎年受診し、新たな評価項目から取り組むべき課題を明確にすると共に、計画的な改善策の実施を目指しています。(通番9)

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	b
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	b
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a	
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	b
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	b
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	a
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

[自由記述欄]

- ・施設長は自らの役割と責任を表明し、職員とのコミュニケーションを積極的に取っています。法令順守の研修への参加を裏づける資料の保存と責任の明文化などを実施されるとなおいでしょう。(通番11)
- ・安心安全を前提に意欲を持って保育の質の向上を図っています。近年の新たな取り組みとしては、親子のふれあいを意図した遠足、親子クッキング、お月見の会などを開催しています。(通番12)
- ・目標管理シートを利用して、職員の状況を把握されています。年に2回、園長と面談の時間が確保されています。(通番16)
- ・正規職員全員の参加による職員会議を月に1回行っているなど、園内の情報共有に努めています。それは職員だけでなく地域支援活動(園庭開放・季節の制作・クリスマス会)の参加者に対して、園の様子を伝えている点からも伺えました。これらを記録し保存、公開、外部監査の受診などが望まれます。(通番21)
- ・地域の保育所として周辺の社会資源を明確にし、向日市の看護師会とも連携を図っています。会議録もあり、小学校と連携した交通安全教室や合同避難訓練などが適切に行われています。(通番25)

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a	
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a	
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a	
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a	
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b	
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	b	
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a	
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a	
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a	
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	b	
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	b	
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b	
	Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	a
			41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	a
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a	
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a	
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	b	

[自由記述欄]

- ・「自分で相手に想いを伝える」ために、様々な体験ができる機会を設けたり、一人一人の子どもの人権に配慮した保育に取り組み、子どもが互いに尊重する心を育めるよう取り組んでいます。（通番28, 29）
- ・保護者の意見は、意見箱やアンケートなどで聴いています。ただし、苦情解決の第三者委員は、法人内部ではなく、第三者でなければなりません。また、苦情解決の第三者委員の氏名・連絡先を掲示する必要があります。（通番33）
- ・安心・安全な福祉サービスの提供は、情報アプリの活用など組織的な取り組みが行われています。今後は、想定される災害の影響を把握し、園舎の耐震レベルの把握や食品備蓄リストを作成されると良いでしょう。また、園の事情に沿った事故発生マニュアルの見直しが必要です。（通番37, 38）
- ・不審者対応だけでなく、緊急時の対応面から考えて、各保育室にインターホンの設置など、速やかに連携が図れる仕組みが構築されるとな良いでしょう。（通番39）
- ・保育課程を基に指導計画は策定され、年間・月間・週案に反映されています。（通番40）
- ・適切なアセスメントにより福祉サービスが提供されています。行事などの説明会が開かれ、保護者への説明と意見聴取は適正になされ随時見直しされています。（通番43）
- ・職員室が玄関に接しており防犯面の安心を見込める反面、人の出入りの多い場所での書類管理には不安も与えかねません。記録自体の管理体制は整備されています。今後は、廃棄に関する規定を定めるとな良いでしょう。（通番45）

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 保育課程の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	b
		A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
	48		② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
	49		③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
	50		④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a
	51		⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
	52		⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
	53		⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
	54		⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
	55		⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
	56		⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a
	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

- ・保育課程は保育所の理念と保育の基本方針に基づいて編成されています。今後は、地域の実態に応じた内容を盛り込み、定期的な評価と見直しができることより良いでしょう。（通番46）
- ・子どもがクールダウンできるスペースを確保し、加配の保育者が子どもに寄り添う体制が確立されています。（通番47）
- ・乳児（0、1、2歳児）に対しては、早期保育には必ず担任が付き、8時には、すべてのクラス担任がいるようにするなど、子どもが安心して園生活のスタートが切れるようにしています。子どもたちの生活の流れが確立されています。
- ・幼児では専門講師によるリトミックや英語などにも取り組んでいます。また、発表会ではストーリーや自分の役柄を、子どもたち自身で選び決めることができるよう配慮するなど、主体性や自主性を大切に、一人一人の個性を活かした丁寧な保育を心がけています。（通番50）
- ・小学校との連携は、小学校との接続カリキュラムを作成し意見交換ができています。（通番56）
- ・アレルギーのマニュアルは園独自で作成し、見直しが行われていることが確認できました。給食室での受け渡しには目視・確認・注意が払われています。アレルギー児童への対応はしっかりされていました。（通番59）
- ・子どもの喫食状況を知るために残食簿を記録し、給食会議も開催されています。栄養士が0歳児の部屋に入るなど交流がなされています。（通番61）

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

[自由記述欄]

- ・家庭との緊密な連携については、各クラスでその日の保育について玄関の掲示板で知らせたり、連絡ノートを活用したりするなど家庭との連携をとっています。それらの記録について、振り返りの確認のしやすいものに作り変えとなお良いでしょう。（通番62）
- ・保育園が第三者評価を毎年受診する事で、保育士が主体的に自己評価を行なっていることが記録されていました。（通番65）